

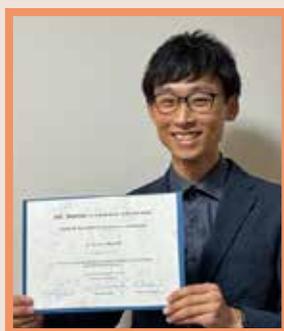
2024年度  
コラファス賞

受賞おめでとうございます

菊池 幸祐さん

津田 正仁さん

上記2名の方々が2024年度コラファス賞を受賞されました。



菊池 幸祐さん



津田 正仁さん

受賞論文タイトル

Dynamics-coupled Design of Protein Needles for Constructing Self-assembly Structures

菊池 幸祐さん 生命理工学コース 上野研究室 (博士後期課程 2024.3 修了)

Functionalization of isoxazoles and application to synthesis of heterocycles

津田 正仁さん ライフエンジニアリングコース 中村・岡田研究室 (博士後期課程 2024.3 修了)

コラファス賞とは

1982年スイスの科学者、Dimitris N. Chorafas氏によって設立された賞で、バイオテクノロジーを含む化学の様々な分野の研究を対象とし、若い研究者への援助を目的としています。

今回の応募条件は2023年6月～2024年12月に博士の学位を取得ないしは取得予定であること、かつ1992年6月以降生まれであることでした。

我校は世界13カ国21の協力校のひとつになっており、学内で1～2名を選考して候補者として推薦し、ほぼ毎年受賞しています。

次回Chorafas Prize 2025への応募は、2025年1月上旬頃に学院長から研究室教員向けに呼びかける予定です。

卒業年となる博士課程のみなさん、コラファス賞は、国際的な評価を得るチャンスです。

学生時代の総括として自分の研究成果を世界にアピールしてみませんか。ご応募をお待ちしております。